

Windows10 への移行作業

ステップ1：事前の確認作業

1. Windows10 が動作するパソコンであるかの確認

- CPU 性能 1GHz 以上
- メモリ 1GB 以上 (32bit 版) / 2GB 以上 (64bit 版)
- ディスク 16GB 以上 (32bit 版) / 20GB 以上 (64bit 版)
- その他 DirectX9 グラフィックデバイス

⇒ 詳細は各メーカーの Web サイト、もしくは MS の互換情報を検索して確認すること。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/article/windows10/guide/>

2. Windows10 をどのように導入するか

タイプ1：無償アップグレードを利用する。

⇒ Windows7/8.1 からアップグレード特典を利用する。
(2015年7月29日より1年間)

タイプ2：新規に Windows10 仕様のパソコンを購入する。

タイプ3：WindowsXP/Vista から有償アップグレードする。

ステップ2：タイプ別導入の手順

<タイプ1> Windows7/8.1 から無償アップグレードの場合の手順

① アップグレード方法を選択する

- 「Windows10 を入手する」アプリを利用 (最も一般的な方法)
⇒ タスクバーから Windows10 を予約する。
- 「メディアクリエーションツール」を利用する
⇒ Windows10 をダウンロードしてインストール。
- インストールメディアを利用する (再インストール可能)
⇒ Windows10 をダウンロードし、USB メモリや DVD にインストールメディアを作成する。

② アップグレード作業を実行する。(すべて自動で行われる)

③ ドライバーソフトなど必要に応じてインストールする。

④ メール設定、ブラウザ設定など、必要に応じて再設定する。

⇒ Windows10 のブラウザは、Edge という新ソフト

<タイプ2> 新規にパソコンを購入する場合の手順

- ① 現行PCのデータを外部ファイルとして出力する。
⇒ Windows10には「引越ツール」が無いので手動で作業する。
- ② メールアドレス帳、ブラウザのブックマークなどは、各ソフトのエクスポート機能を利用する。(住所録ソフトなども同様)
- ③ 新規PCにメディアを接続し、旧データをコピーする。
⇒ ドライブを分割した場合、どこにコピーするか留意すること。
⇒ ドキュメント、ミュージック、写真などのカテゴリを利用する。
- ④ 旧PCで利用しているソフトのライセンス契約を解除する。
- ⑤ ソフトによってエクスポートしたデータはインポートでコピーする。
- ⑥ ドライバソフトなど必要に応じてインストールする。
- ⑦ 購入したソフトやダウンロードしたソフトを再インストールする。
⇒ ④の作業とセットで行う。

<タイプ3> WindowsXP/Vista のパソコンに導入する場合の手順

- ① Windows10を購入し、インストールメディアを作成する。
- ② 現行PCのデータを外部ファイルとして出力する。
⇒ Windows10には「引越ツール」が無いので手動で作業する。
- ③ メールアドレス帳、ブラウザのブックマークなどは、各ソフトのエクスポート機能を利用する。(住所録ソフトなども同様)
- ④ 現在利用しているソフトのライセンス契約を解除する。
- ⑤ Windows10をインストールする。
⇒ 基本的にクリーンインストール(初期化)を推奨します。
- ⑥ メディアを接続し、旧データをコピーする。
⇒ ドライブを分割した場合、どこにコピーするか留意すること。
⇒ ドキュメント、ミュージック、写真などのカテゴリを利用する。
- ⑦ ソフトによってエクスポートしたデータはインポートでコピーする。
- ⑧ ドライバソフトなど必要に応じてインストールする。
- ⑨ 購入したソフトやダウンロードしたソフトを再インストールする。
⇒ ④の作業とセットで行う。

ステップ3：動作確認と諸設定

- Windows ログインユーザーの登録
- 画面の解像度、文字の大きさ、ネット接続などの諸設定を行う。
- ソフトの動作確認、インターネット接続の確認、プリンターの確認など。

⇒ 不具合がある場合には元の環境に戻す

Windows10の基礎知識

(1) 慣れ親しんだ使いやすい操作感

スタートメニューが強化されて復活し、お気に入りにすばやくアクセスが可能。ピン留めしていたアプリもそのままタスクバーに残る。

(2) 互換性を維持しつつ、これまでより安全、高速。

Windows10は、すでに利用中のハードウェアとソフトウェアに対応できるように設計されている。起動が早く、またスリープからも素早く復帰。さらにこれまで以上に充実したセキュリティを確保している。

(3) 魅力的な新機能

まったく新しいブラウザの「Microsoft Edge」、PCモードとタブレットモードの画面を最適に切り替える「Continuum」などを装備。

(4) Windowsストアの刷新

マイクロソフト認定済のアプリ、ゲーム、映画、テレビ番組、音楽などますますコンテンツが充実。

(5) 無料

2016年7月28日までにアップグレードすると正規版（機能制限などの一切ない通常商品）が無料。

(注意) これまでの操作と異なる点

- スタートメニューを左クリックした場合の「設定」と、右クリックした場合の「コントロールパネル」が別々に存在する。→ できる設定が異なる
- デスクトップにショートカットを作成する方法がちがう
 - アプリのショートカットの場合には、スタートメニューのすべてのプログラムから、該当するプログラムをデスクトップにドラッグする。
 - 書類の場合には、書類を選択して右クリック⇒送る⇒デスクトップ（ショートカットを作成）で作成する。
- ソリティアなどのゲームはインストールされていないので、ストアからダウンロードする。「Microsoft Solitaire Collection」に入っている。
- システムフォントが「游ゴシック」になったが、システムフォントを変更するツールが無い。→ フリーソフトを利用する。
- 複数のPCから同じIDでログインすると、デスクトップが勝手に同期してしまい、画面が変わってしまうことがある。
- OSがインターネットで提供されるため、再インストールが必要な場合には、専用ソフトを利用してインストールメディアを作成する必要がある。